



学校だより

《学校教育目標》 (知) 主体的に学ぶ生徒
(徳) 正しく判断できる生徒
(体) 心身を鍛える生徒
<No. 2> 平成29年5月1日

さいたま市立白幡中学校

〒336-0022 さいたま市南区白幡2-18-13

TEL048-861-3203 (学校)
866-5789 (相談室)
<http://shirahata-j.saitama-city.ed.jp>

自らあいさつ 意志ある返事

校長 今溝 良司

入学・進学からほぼ一か月が経ちましたが、保護者の皆様には何かとお忙しい中、保護者会や携帯安全教室、学校公開、PTA活動と何度も白幡中に足を運んでいただきありがとうございました。一年生の制服やジャージの折り目も薄くなり、中学校生活に少しずつ慣れてきた様子が伺えますが、生徒の声を聴くと「着替えが忙しいです」「部活決めました！」と忙しい中にも期待感を持ち合わせているようです。担任の先生は、毎日の朝学活で一人ひとりの名前を呼びながらその日の健康観察を同時にしています。返事によっては体調を確認することもあります。返事はその時に応じた適切な声量で「ハイ！」と言いますね。その返事の一言には様々な心や体の状態が表れますし、その人の意志を感じ取ることもできます。あなたの中学校生活にもいろいろな波が寄せることがあるとは思いますが、強くて負けない気持ちとともに、臨機応変に対応する柔軟な気持ちを併せ持てるようにたくましく成長して欲しいものです。そのためには、はっきり「ハイ！」という返事を心掛けることが大切です。

さて、今月は大型連休（ゴールデンウィーク）の後半がありますが、こどもの日（5月5日）は、「こどもの人格を重んじ、こどもの幸福を図るとともに、母に感謝する」ことが趣旨であるそうです。こどもの日は男の子の節句ばかりでなく、未来を担う子どもたち全員の幸福を願うのですね。カレンダーには母の日（5月の第2日曜日）も書かれています。

母への感謝はこの日ばかりでなく毎日感謝してもしきれないのは誰も同じでしょう。私が小さいころ祖母によく言われた言葉に「親の言葉となすびの花は、千に一つの無駄もない」「親思う 心に勝る 親心」があります。ちょうど今頃ホームセンターや農協などではナスの苗が売られ、やがて畑に根付き花が咲くとき、思い出してください。ナスは咲いた花のすべてに実がつきます。このことを用いたのでしょうか、親の言葉にも無駄がありません。皆さんは親御さんだけでなく祖父母の言葉にも深く耳を傾けることが大切です。家族への感謝は尽きないものですが、こどもがどんなに親を思っても（感謝しても）、親が子を思う気持ち（慈しむ気持ち）は、それにも勝るといえることですね。私の母も満94歳。田舎で一人暮らしをしています、いまだに子ども扱いで、小言を浴びています。